

木もれ日 通信

K o m o r e b i T s u s h i n

第2号

平成12年9月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月舘町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.ne.jp
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
2ページ

きゅうりの
花

ふりそそぐ太陽を浴びて
美しく咲いた花たちが
みずみずしい野菜に育ちました。
そろそろ夏野菜の季節も終わります。
大地の恵みに感謝をしつつ、
可憐な花たちにも
そっとエールを送りましょう。



糠田・斎藤基さんの畑のキュウリ(南極一号)

ナス・トマト・キュウリ・オクラ・スイ
かなど、夏野菜の風景は、お祭りのよ
うに元気があります。

促成栽培という技術によってどん
どん打ち壊されてしまっている野菜
の旬。しかし、水分が多く、中身がひ
んやりとしている野菜たちは、まさ
に夏に大活躍の食べ物。中でも最も
古くから親しまれ、人気があるのは
キュウリです。



キュウリはウリ科の二年草。3個の
房を持つ雄花と、花の下に長い子
房を持っている雌花とに分かれてい
ます。雄花はしほむと落ちてしま
いますが、雌花は花がしほむと、めしべ
のもとがふくらんで、やがてキュウリ
の実になります。キュウリの花は黄色
花びらが和紙のように繊細で、優し
い花です。くるくると巻きつくひげは、
ヤンチャ坊主のよう。小指ほどのか
わいいキュウリには、それでもしっかりと
とげがあり、植物の生命力を感じさ
せます。

●いただきます

太陽と大地のエネルギーにあふれた、
もぎたての、みずみずしいキュウリを
食するには「もろ胡瓜」が一番。細切
りにして盛りつけたキュウリを、手で
つまみ、味噌をつけて食べます。

田舎に暮らして幸せなことのひと
つは、安全で、新鮮な食べ物を、おいし
く食べられること。だから、大地の恵
みに感謝をこめて「いただきます！」
キュウリの90パーセントは水分。利尿、
消炎、二日酔いにも効果のあるキュウ
リは、血液が酸性に傾きやすい現代
人に大いに食べてほしい野菜です。

●収穫を楽しむ

年々、花工房菜園も充実してきま
した。1つの苗から、食べきれないほ
どの実がなり、野菜三昧の夏でした。
もぎたての野菜のおいしさは、食べた
人にしかわかりません。特に、朝三番
に収穫した野菜の味は格別です。来
年は是非、夏の家庭菜園に挑戦して
みてください。「こんなに違うの!」と、
驚きの収穫があるはずですよ。



今日の収穫担当者は花工房スタッフ、長谷部さん。

季節。つりゆく。

SUMMER
ミレニウム
夏の記念写真



ひまわりがくれた笑顔 福島市相澤様ご家族



「ビーチよりビーチ」
埼玉県本郷保育園の子供たち



北海道を結ぶ架け橋 横浜市の中村様ご家族

20世紀最後の夏も、いつもと変わることなく、穏やかな時間が流れたつきだて花工房で、たくさんのお出迎え、思い出ができたことに、感謝を込めて…。

ミレニアムの夏

8月になると、夏休みを田舎で過ごす方たちで、町の雰囲気も、つきだて花工房の雰囲気もどこことなく変わります。

今年の夏も、たくさんのお客様が、

つきだて花工房を訪ねてくださいました。「公共の宿」などの情報誌で、つきだて花工房を知り、初めて、月館町を訪れたカプルやファミリー。就職でこの町を離れ、久しぶりに帰郷した若者たち。お盆のお墓参りで、故郷を懐かしむ人々。

そんなたくさんの方々が、今年、4700本のひまわりが、お出迎えをしてくれました。「月館町の人口の数だけ、ひまわりを植えよう」とつきだて夢楽校の皆さんが、町民に協力を呼びかけて植えたひまわりは、夏の太陽をサンサンと浴びて、花工房を見上げるように咲き誇り、訪れた皆さんや、暑さでパテ気味のスタッフに、笑顔と元気をくれました。

ひまわりがくれた笑顔

せつかくのひまわりを想い出にと、玄関先で記念撮影。

福島市にお住まいの相澤様ご夫婦は、山形県に嫁がれた娘さん家族を連れて、ハイプのお風呂を楽しんでくださいました。テレ気味の僕と、まさにひまわりのような笑顔のファミリーが、暑い夏の午後、さわやかな風を運んでくれました。

ビーチよりビーチ

「幼い日、従兄弟たちと山へ行ったり、清流だった糠田川で水遊びに興じた

ことは、私の忘れ得ぬ思い出となり、胸の奥深く秘められた大事な宝物となりました」と話されるのは、埼玉県にある本郷保育園の園長程塚陽子先生。恒例の、月館保養所での林間保育では、今年も桃狩りを行い、例年以上にあまうく実った桃を、「がぶり！」おやつのは、薬師寺で鐘つき体験。もぎたての、桃の甘さと、「ゴーン」と響く鐘の音。月館の夏の思い出が、園長先生同様に、大事な宝物として子供たちの心に刻まれることを願います。

北海道を結ぶ架け橋

横浜市にお住まいの中村様は、奥様の志石子さんが月館町出身。長男の和也さん家族は、同じ横浜市にお住まいですが、次男の信也さん家族はなんと、北は北海道。中間地点でもあり、志石子さんの故郷でもある月館町の花工房で、久しぶりの家族再会です。「花工房があつて本当に良かった」とおっしゃる志石子さんの言葉に、施設の役割を再確認。父「そのサンダル見覚えあるなあ。おれが送ったやつか？」

次男「そうだよ、ちゃんと履いてきたよ」短い会話に、遠く離れた親子の絆を感じました。お孫さんり人を含む、12人の仲良しファミリーの、ほのほのとした雰囲気、つきだて花工房を、やさしくつみこんでくれました。

from SUMMER ひまわりが咲いた夏、コスモスが揺れる秋。 to AUTUMN

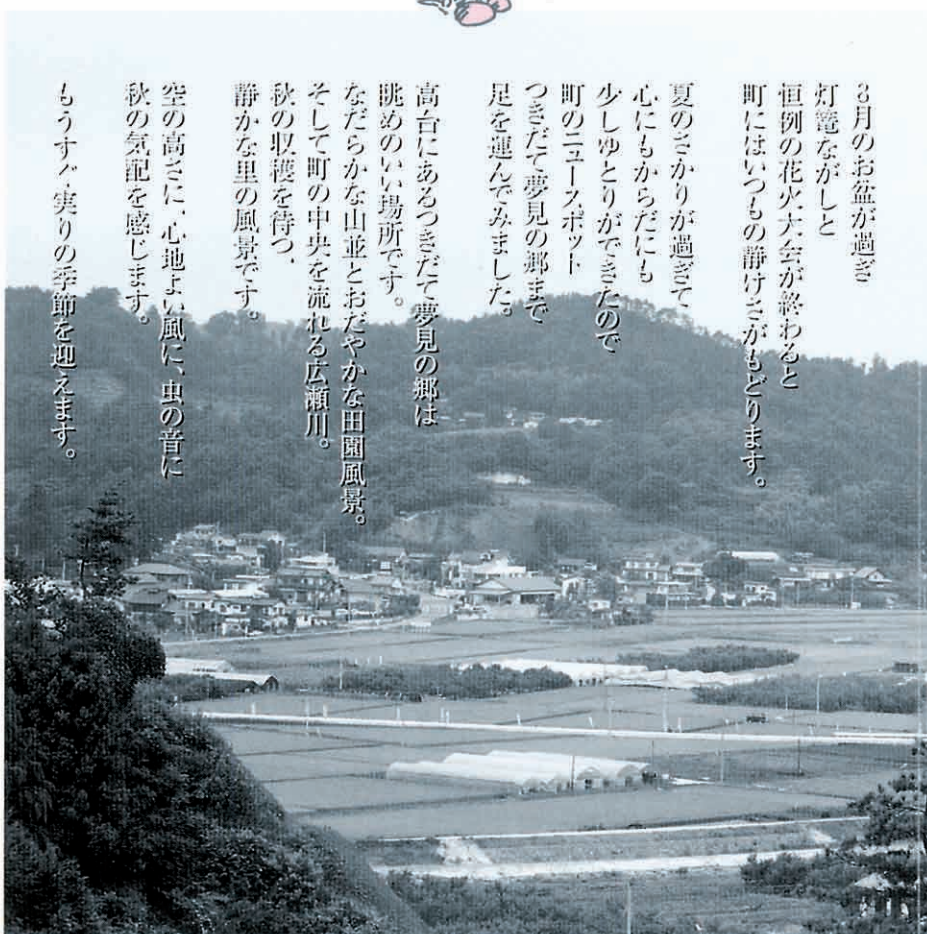


3月のお盆が過ぎ
灯籠ながしと
恒例の花火大会が終わると
町にはいつもの静けさが増します。

夏のさかりが過ぎて
心にもからだにも
少しゆとりができたので
町のニュースポット
つきだて夢見の郷まで
足を運んでみました。

高台にあるつきだて夢見の郷は
眺めのいい場所です。
なだらかな山並とおだやかな田園風景。
そして町の中央を流れる広瀬川。
秋の収穫を待つ、
静かな里の風景です。

空の高さに、心地よい風に、虫の音に
秋の気配を感じます。
もうすぐ、実りの季節を迎えます。



つきだて夢見の郷から御代田地区を望む。

田舎の秋を楽しもう!

9月

刈り取りを待つ稲穂が、黄金色に輝く。
●美しい月で心を癒す。9月12日/中秋の名月
●稲刈りの始まり…中旬より
※今年は例年より稲の実りが早く、収穫の喜びに満ちる季節が早まりそう。

10月

秋の味覚は、山の恵み・きのこ。
10月10日はきのこの日
●近くの山で採れるきのこは、香たけ・本しめじ・千本しめじ・さくらしめじ(あかきのこ)・ならたけ、など
※山にゴミや吸殻を捨てるのはやめてね。
●栗拾い…つきだて花工房の遊歩道で山栗拾いを楽しんで!
●柿の木…代表的な里の秋風景を愛でる。

11月

紅葉が彩る静寂の季節。
●七つ森林道から阿武隈の山並みを望む…、これ絶景なり。
●晩秋の実り/りんご・あんぽ柿

●それぞれの秋を楽しんでください
お問い合わせはお気軽に。
☎024(573)3888つきだて花工房

食 あまから情報

9月より秋メニューがスタート

好評だった「桑うどん」を
ひきつづきお楽しみください!

●ある日のお客様との会話

「こちら、桑のおうどんになります」
「エッ!桑?かいこさまになっちゃうない」
「はい。絹のようなお肌になりますよ!」
「おおーっ、うまいない。うんうん…」

山桑の豊富だった月館町は、かつて養蚕が盛んでした。伝説に残る小手姫が、里人に養蚕と機織りを教えたのが、月館町の産業の始まりと伝えられます。

KOMOREBIプレゼント

ひまわりの種さしあげます。

●つきだて夢楽校の皆様のご好意により、つきだて花工房にお越しのお客様で、ご希望の方に、ひまわりの種をさしあげます。
無くなり次第、終了させていただきます。

秋のつきだて旅日記

平成9年11月

花と温もりと優しいさ 溢るる町

東京都 新井 妙子様

阿武隈の錦織り成す絶景が今なお心に残り、眼前に広がる。「とてもいい所よ、是非ぜひ来てね、花工房にも泊まって…」と度々友人に誘われ、ようやくかなった月館の旅。辺り二面広がる豊かな自然そのものが安らぎを与えてくれ、心身共にリフレッシュ。ホッとする雰囲気にも包まれながらの散策は、会話も弾み話題は尽きることもなく、疲れなど全く感じない。また、花工房のハーブ湯に心を癒し、何ともゆつたりほつりのご機嫌のひとつきに満足だった。輝く星を仰ぎ、真っ赤な見事な夕日が直ぐそこに沈む光景に心奪われて…、素敵な自然に

触れるたびに感動し、幸せを噛み締めていた。
月館は百合やひまわり、桜や桃の花の町だという。澄んだ空気のもとに四季折々競い合う花々や、美しい山々の姿を描き、その風情その醍醐味を存分に味わいたいと思うばかり。
「花と温もりと優しいさ溢るる町」月館。そして何よりも、心暖かい月館の皆様との出会い語らひは、更に楽しい素敵な旅となつて想い出の二頁を綴っている。



つきだて花工房から紅葉の山並を背に作家・水上寛裕先生と新井さんたち

Hana

こもれ日インタビュー 心を贈る絵手紙

「はなくらぶ」は皆さまとつきだてて花工房をつなぐページです。お便り、情報など何でもお気軽にお寄せください。次回第3号のはなくらぶのテーマは「21世紀に伝えたいこと、残したいこと」です。お便りお待ちしております。

絵はがきが誕生したのは明治33年。それから、世紀が過ぎる平成に、再び自筆の絵はがき（絵手紙）が注目されています。福島市在住の切絵画家、和田恵秀先生に、絵手紙の楽しみ方をうかがってみましょう。

Q 絵が苦手でも楽しめますか。
A 下手なほうがいいんですよ。上手い人は当たり前ですが、下手な人が一生懸命描いた絵を送ってくれるのは嬉しいものです。上手い絵を描こうとしないで、良い絵を描きましょう。

Q 良い絵とは？
A 良い絵とは子供の絵です。子供の絵が良いのは、感激がそのまま絵に表れているからです。絵を書く一番大切なことは、まず描くものの観察をして、その美しさに感動した心を表現することです。絵手紙教室をあちこちで頼まれています。何ヶ月かするうちに、「今まで見過ごしていた野の花や、故郷の山や川を見る目が、変わってきた」と、皆さんおっしゃいます。それが一番大切なことです。

Q 大切なのは心なんです。でも、それを描くと...
A そうですね。個性というのは人の数だけあるわけですから、あなたが描いた絵はあなただけのものです。人の真似をしたり、こんな色でいいのかと迷ったりすることをまずやめましょう。極端にいえば、りんごを見てかぼちゃを描いてもいいんです。ただ、あなたが感じれば、の話ですけど。

Q この時代になぜ絵手紙がブームなのでしょう。
A 残酷な事件、事故が毎日のように続き、人の心がとても荒れてきたように思えます。大自然の風景や花に感動することが、今の世の中に欠けてしまっているのではないのでしょうか。絵手紙には、心の安らぎを取り戻す作用があつて、ブームになっているんじゃないかなあ。

Q ズバリ、絵手紙がうまくなるには？
A まず、上手く描こうと思わないこと。技術で描こうとしないで、感激で描くこと。毎日、絵日記のつもりで描くこと。描けば描くほど肩の力がぬけて、良い絵が描け始めますよ。



全国絵手紙コンクール特選入選 和田恵秀先生作品

お便りコーナー

花 工房下のひまわり、元気に育っていますか。咲いたらどんなにか見事でしょうね。「つきだてて夢楽校」の皆様、これからもたくさんのお花を咲かせて下さい。

（寺田ワサ子様、夏子市）
花ひまわりは、雨の少なかつた悪条件にも負けず、元気いっぱい咲いてくれました。追肥、水あげの陰の力あつてこそです。

木 もれ日通信、楽しく拝見いたしました。通信の写真を見て懐かしくなり、アルバムを引っ張りだして見せております。秋の霊山等、登つてみた山々があり、これからお世話になります。（大友実則様・千葉県）

花 真紅に染まる山々を楽しみに、是非お越しください。

懐 かしく「つきだてて花工房」を思い出しています。木もれ日通信というネーミングがいいですね。肩に力を入れられないのびのびと取り組んでください。次号も楽しみにしています。（矢野鉄様・上尾市）

花 激励のお便りありがとうございます。木もれ日通信のような、ぬくもりのある交流が、この通信でできたらと思います。これからも、応援してください。

ムーンセミナー 絵手紙教室

この時間をもちたい方へ。

日程 10月2日・16日（月）
11月6日・20日（月）
12月4日（月）

の全5回コース

受講料 5千円（5回分）

時間 午前10時から

講師 和田恵秀先生

お申し込みは、つきだてて花工房ムーンセミナー係まで。

024(573)3888

※教材をお持ちでない方で、購入を希望される方は、あわせてお申し込みください。

「花の会」作品展中
つきだてて花工房のロビーの雰囲気が変わりました。写真家秋山庄太郎氏を会長に、全国で花の写真活動をされている「花の会」。その、会員の皆様の心洗われる作品を、ロビーにてご覧いただけます。一見の価値あり！

INFORMATION

インフォメーション

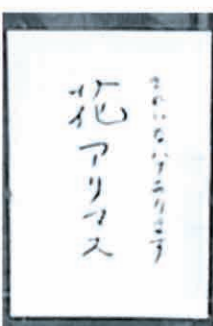
●つきだてて花工房、年末年始も営業いたします。お早めにご予約を。

（大晦日と元旦はお風呂のみの営業です。）詳しくはつきだてて花工房までお問合せください。

●小手姫の里秋祭りの開催
11月11日、12日の2日間、月舘町公民館前駐車場にて

●つきだてて夢見の郷宅地分譲中、
坪単価3万8千円、
（1区画平均130坪）

お問合せ先 役場企画課
TEL 024(572)2111



字町「こぼや」さんの店先に貼られた、店主オキクさん直筆のチラシ。

編集後記

「きれいなハナあります」に、引き込まれ、カキ氷を10個も買った夏の午後。パソコンやワープロが主流の今、久々に素朴な広告が目が止まり、心にジーンときたのは私だけでしょうか？

絵手紙も同じこと。携帯電話でメールが送れる時代でも、自筆の文字や絵とは、伝わるものが違うのかもしれない。オキクさんの心の中にもきつときれいな花が咲いていると思いが、なぜか幸せ気分が湧いてくる。気がつけば「あ、お花買ってない！」（佳代）

ムーン 月の明りで疲れた 心を癒したい。 セラピー

いますぐカレンダーにチェック!!

[新月の夜]	[満月の夜]
9月28日(木)	9月14日(木)
10月27日(金)	10月13日(金)
11月26日(日)	11月12日(日)